

# 職業系高校の魅力化の推進

## ～福井県独自の方策と専門学科の取り組み～

### はじめに

福井県では「一人一人の個性が輝く、ふくい未来を担う人づくり」を基本理念として、「自らの個性を發揮し、人生を切り拓くために挑戦し続ける人」「多様な人々の存在を認め、協働して新たな価値を生み出す人」「ふるさとや自然を愛し、いつでもどこにいても社会や地域に貢献する人」を目指す人間像としている。

また、子どもの主体性を大切に、「個性を引き出す」教育の推進、子どもが知的好奇心や探究心を持ち、「学びを楽しむ」教育の推進、地域に貢献しようとする心を育む「ふるさと教育」の推進、「教職員が輝く」働き方改革の推進の4つを「重点施策」として位置づけている。

福井県には24校の県立高等学校があり、職業に関する専門学科を有する学校は、単独校4校、普通科との併設校3校、複数の専門学科による職業系高校4校の計11校ある。それぞれの専門学科は農業学科3校、工業学科6校、商業学科6校、水産学科1校、家庭学科3校、福祉学科1校である。地元産業界と連携し、学科間を横断した各校オンリーワンの魅力ある取組みを充実する活動を展開している。

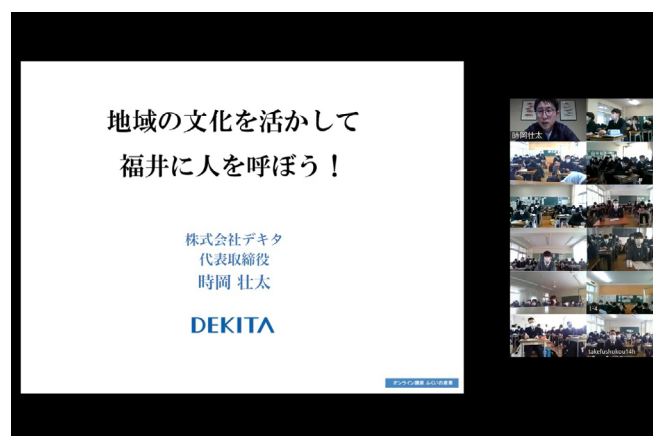
### 1. 産業教育の充実に向けた県独自の方策

福井県教育委員会では、本県の産業教育の推進をするために、本県独自の事業を数多く展開している。

#### (1) ふくいの産業事業

職業系高校1年生を対象に、シームレスな産業構造に対応した、福井県独自の職業系学科共通科目「ふくいの産業」を開設している。これは、地域産業の現状や、行政及び先端企業の取組みを学ぶために、企業経営者や

技術者、行政担当者等を講師として、オンライン授業を実施する事業である。職業系高校1年生が定められた日時に一斉にオンラインで視聴し、講演後には講演者と質疑応答などをしながら「ふくいの産業」について学習する。この講演会の様子は、限定配信の動画教材としてアーカイブしており、普通科高校も含め、すべての県立高校に対して、いつでも活用可能としている。



#### (2) 福井フューチャーマイスター事業

福井県内の高校生を対象に、福井県が推奨する難易度の高い資格試験や地元産業界からの要望が強い資格試験については受験料を補助している。この補助金制度を活用することで、難関試験へ挑戦する生徒数は倍増した。これにより、令和3年度には情報通信の最上位資格である工事担任者総合通信の取得者数で、本県の科学技術高等学校が全国1位となった。

また、取得資格をはじめ、コンクールや競技会での入賞など、3年間の成果を得点化し、プラチナ、ゴールド、シルバー、ブロンズの4グレードとして、福井県独自である福井フューチャーマイスターの認定を行っている。



### (3) 魅力発信プロジェクト事業

職業系高校の生徒が習得した専門分野の知識・技能を多様な分野へ活用する取り組みを実施することで、各職業系高校の特色の強化を図ることを目的としている。将来の福井を担う産業人材を育成するため、各職業系高校が地元の小中学校等や多様な県内企業等と連携した魅力あるプロジェクト活動を実施する。一例として、令和6年春の北陸新幹線福井県延伸に向け、地域企業と連携して駅弁やおみやげの開発プロジェクトを複数校で実施している。

### (4) 英語力向上事業

地域の産業界でも事業や従業員のグローバル化が進んでいることから、職業系高校生の英会話能力向上の方策のひとつとして、外国のネイティブの大学生と一対一で会話をするオンライン英会話授業の補助や、身についた英会話力を県独自の「ふるさとツーリズム英会話検定」で評価する制度を構築している。

## 2. 職業に関する専門学科の特色と取り組み

### (1) 農業に関する学科

農業に関する学科を設置している県立高校は3校（単独校1校、他学科との併設校2校）である。

特色ある取り組みとして、県内唯一の単独校となる福井農林高校では、高校で全国初となる生鮮食品で機能性表示取得に向けて取り組んでいる。令和元年から生産・販売されているトマト「の〜りんのあま姫」は、通常のトマトに比べ糖度が高く、フルーツのように甘いトマトとして販売してきた。このトマトにさらなる付加価値をつけ、

ブランド化を推進するため、県の農林水産部や食品加工研究所と連携して取り組み、令和3年度に機能性表示届出を完了し、リコピンによるLDLコレステロール値低下の機能性表示を取得した。令和4年度から販売を開始している。

農業、工業、商業、家庭の併設校である坂井高校では、地元大学等と連携し、絶滅危惧種であるアゼオトギリやエチゼンダイモンジソウの保全活動を行っている。この活動を校内外の多くの発表会で公開し、多くの人に絶滅危惧種の保全に関する知識や技術を広め、「4 質の高い教育をみんなで」、「15 陸の豊かさを守ろう」、「17 パートナースhipで目標を達成しよう」の3つの目標でSDGs活動を宣言している。

農業、工業、商業の併設校である若狭東高校では、平成27年度から文部科学省に指定されたSPHにおいて研究対象となった薬用植物「コウギク」の商品開発を行っている。また、薬膳料理を中心とした高校生レストランを年に数回行っている。

